

授業評価 2015 (前期) T1S: 工学部ナノサイエンス学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.79(2015-09-11) by Yas

2015 年度前期 工学部ナノサイエンス学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1S014001	量子力学 I	3 年前期金曜 4 限	坂本 一之	T1S 1
T1S018001	物性物理科学 I	3 年前期金曜 3 限	KRUEGER PETER	T1S 2
T1S035001	物性物理科学 IV	4 年前期木曜 3 限	松末 俊夫	T1S 3
T1S046001	基礎半導体工学	3 年前期火曜 2 限	青木 伸之他	T1S 4

授業科目名	: 量子力学 I
担当教員	: 坂本 一之
年次・開講時限	: 3 年前期金曜 4 限
授業コード	: T1S014001
授業アンケート	: 回答者数 14 人 / 受講者数 42 人 (回収率 33%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q6. Q5 の評価が「はい」でない場合、その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 2 件)
板書の文字に関して、なぐり書きにならないよう、常に丁寧に書くことを意識するようにする。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか?(回答 13 件)
予習復習に関して個人で大きな隔たりがある。この差が理解度の差につながるので、毎回宿題を出すなどして復習の時間を増やすことを検討したい。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか?(回答 13 件)

量子力学は、高校までの物理(古典力学)とは違う概念であるため、内容の理解に苦しむ学生がいるため、講義の最初の方で量子力学と古典力学の対応をやっているが、その部分をさらに丁寧にすることを検討したい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

量子力学は現代のサイエンス、テクノロジーに不可欠な学問です。わからないことがあればそのままほっておかず、積極的に質問して理解度を上げてください。

3. その他のコメントや連絡事項

毎年、講義室の前の方に座っている学生と後ろの方に座っている学生の学習意欲に大きな隔たりを感じる。それに対処する工夫が必要である。

作成(者): 坂本一之

授業科目名	: 物性物理科学 I
担当教員	: KRUEGER PETER
年次・開講時限	: 3 年前期金曜 3 限
授業コード	: T1S018001
授業アンケート	: 回答者数 16 人 / 受講者数 48 人 (回収率 33%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 15 件)

Q 3 の回答によると、20%の学生が私の声をよく聞こえなかったそうです。私の声があまり聞こえない学生がいることは去年のアンケートにも書いてあったので、私は「よく聞こえないときは、言ってください、また、教室の後ろではなく、前の席に座ってください」と今年度の最初の授業で学生に言いました。しかし、授業のとき、その問題について、学生が私に話しませんでしたし、前の席はいつも空いていました。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは、見やすかったですか? (回答 14 件)

Q 5 + Q 6 の回答によると 1/3 くらいの学生は私が黒板に書いた文字が読みにくかったそうです。この授業は人数が多いし、教室が長いので、後ろから黒板がよく見えないと思います。OHP をよく使いますが、黒版にもたくさん書きます。来年度、私の文字が読みにくいことに気づけて、大きくて、キレイな文字を書くように努力します。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 15 件)

(最低)

60%の学生は授業で質問しなかったそうです。確かに、質問が少なかったです。48 人の講義では一人当たりの質問数は少ないことは当たり前だと思いますが、学生からのフィードバックが重要なので、来年度はどうやって学生からの質問を増やせるか考えておきます。たとえば、授業が始まって 40 分程度経った頃に、一旦質問の時間を作ります。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

Q 1 5 によると 20%の学生が授業の内容をよく理解できなかったそうです (あまりいいない: 13%, いいえ 7%)。この授業は固体物理の最初の部分で、新しく、難しい考えが多いです。ですから、私はゆっくり進み、レポートの数がかかなり多いけれども、一つのレポートの問題は量が少ないし、あまり難しくないとします。それで、学生に十分な練習をさせていると考えます。しかし、Q 1 3 の回答によると、半分以上の学生は平均して、毎週 1 時間未満のみ準備・復習したそうです。実はレポートをカンニングする人が多いと感じます。他の学生と一緒に宿題をするのは構いませんが、提出直前にレポートをコピーするようでは、全然予習になりません。そういう意味で、授業の内容をあまり理解しない学生はよく準備・復習し、宿題を自分で解いてみないといけません。また、私は来年度に学生がもっと質問をするように指導して行きたいと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

全体的な評価は悪くないので、私としてはそれほど悲観しておりません。学生の皆さんはよくついて来てくれたと思います。この結果を今後にかして行きたいです。

作成(者): クリューガー ピーター

授業科目名	: 物性物理科学 IV
担当教員	: 松末 俊夫
年次・開講時限	: 4 年前期木曜 3 限
授業コード	: T1S035001
授業アンケート	: 回答者数 5 人 / 受講者数 19 人 (回収率 26%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 4 件)

回答数が少ないが、内容の理解が十分ではないと思われる。講義する題材が専門的で難しい内容を含んでいるので、授業中に問題を解いたり、レポート課題を増やしたりして、自ら考察して学んだ内容を運用する機会を増やしていきたい。それにより、十分な理解と、応用力を育てたい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

予定の範囲をほぼ講義できたが、内容が専門的で高度な部分を含んでいるので、授業時間だけの学習では足りない。復習や応用問題の勉強などの自習にも時間をかけてほしい。あいまいな理解を補完したり、学んだことの有用性や意義がわかり、授業内容への興味もわいてくると思う。

3. その他のコメントや連絡事項

固体の電子的、電磁氣的性質は、物性の基本であり、重要で、汎用性のある原理や現象が現れる舞台にもなっています。授業で学ぶ内容は、物質科学やナノサイエンス、ナノテクノロジーに携わる者にとって、有用で不可欠なものと言えます。将来の土台となりますので、是非、しっかりと学んでください。

作成(者): 松末俊夫

授業科目名	: 基礎半導体工学
担当教員	: 青木 伸之, 坂東 弘之
年次・開講時限	: 3 年前期火曜 2 限
授業コード	: T1S046001
授業アンケート	: 回答者数 10 人 / 受講者数 32 人 (回収率 31%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q10. 授業では宿題, レポート等が理解を助けるのに役立ちましたか? (回答 10 件)

授業の内容が多く, 演習を行う時間が取れなかったのが現状である。どちらともいえないが 30 %, いいえが 10 % いたことから, 宿題やレポートを課すことで, 重要な点の理解へと繋がると考えられることから, 来年度は単元毎に宿題等を課していきたいと思う。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 10 件)

こちらの回答では 1 時間未満が 60 % となっており, あまり時間を掛けていないことがわかる。宿題を適宜出すことにより, より理解が深まると思われる。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 10 件)

どちらともいえないが 20 %, いいえが 10 % いたことから, 理解できなかったと考える学生が少なからずいたことは反省すべきである。やはりこれも演習等を通して理解を深めて行けたらと思う。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

講義内容をこなすことで精一杯であり, 双方向なやりとりや, 学生の理解度を確認することができなかった。試験結果をみても, 理解度が足りない学生も多く, 宿題やレポート等で理解度を確認できる機会が持てるように, 授業の進度や内容を再検討したいと思う。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 青木伸之